

11. 文系教養科目履修案内

どんなに高度な知識でも、持っているだけでは現実の社会に正しく応用することはできません。そこで必要になるのが教養です。東工大の教養教育は、あなたが社会において果たすべき役割を見だし（社会性）、同時にあなた自身の眠れる可能性を目覚めさせ（人間性）、さらには多様な人々との関わりの中でアクションを起こす（創造性）のを助けます。教養科目を通じてさまざまな挑戦をし、この世界で人と関わり自分を活かすための知恵と技術と自信を身につけましょう。

教養コア学修科目（必修科目）

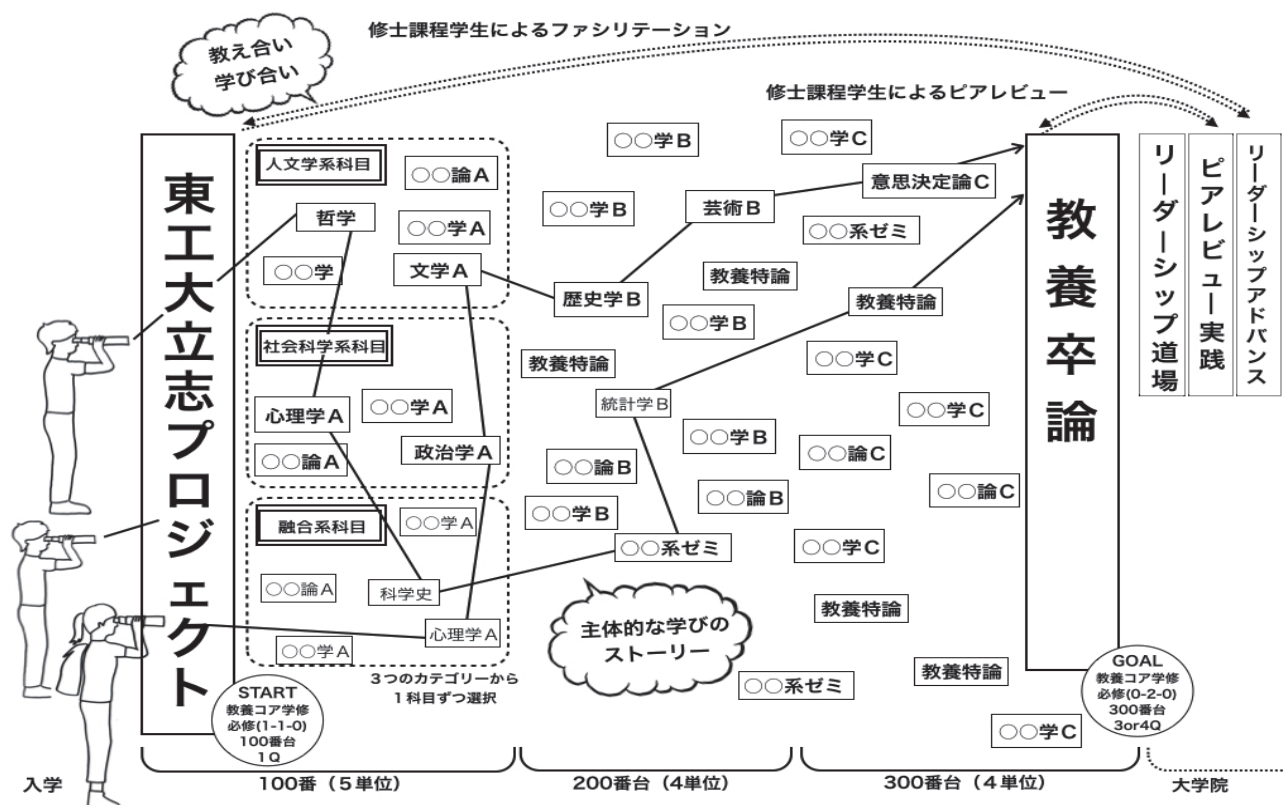
東工大の教養教育の核となる科目です。学部1年次から博士課程にいたるまでの教養教育をつらぬくようにして、おおむね隔年で配置されています。学士課程では、このうち100番台の「東工大立志プロジェクト」、300番台の「教養卒論」を履修します。いずれも必修科目です。ナンバリングはLAH.Cで始まります。

《東工大立志プロジェクト》100番台、1Q、月木3-4or5-6限、必修2単位

東工大に入ったら誰もが最初に通る入口の門です。「講堂での大人数での講義」と、その内容を自分の経験や価値観にひきつけてとらえ直す「少人数でのグループワーク」を交互に行います。点数かせぎの受験マインドを脱して、大学での学びの姿勢を身につけましょう。2ユニットが1クラスになり、担当教員がつきます。ユニットごとに履修時限が異なるので注意してください。受講対象は学士課程1年生に限りです。

《教養卒論》300番台、3or4Q、月木3-4限、必修2単位

学士課程の教養教育をしめくくる、出口の門です。自分なりのストーリーにしたがって履修してきた教養科目。どんなことを学べたのか、振り返って将来のビジョンへとつなげましょう。数回のガイダンスのあと、「東工大立志プロジェクト」のときのクラスが再結集し、少人数のグループでお互いの進捗を確認しながら執筆を進めます。特別な訓練を受けた修士課程の大学院生によるピアレビューのもと、何度もリライトしながらじっくり行います。ユニットごとに履修Qが異なります。



文系選択科目（選択必修科目）

東工大の文系選択科目は、主要な学問領域をカバーするバラエティある科目を用意しています。そのなかからどの科目を選ぶかはみなさん次第。立志プロジェクトでみえてきた興味に沿って、自分なりの学びのストーリーを組み立ててください。

文系選択科目は「人文学系」「社会科学系」「融合系」の3つのカテゴリーに分かれています。

- ・ 人文学系…哲学や文学など、人間や文化について探求する科目。ナンバリングはLAH. H～
- ・ 社会科学系…法学や政治学など、社会のしくみに関わる科目。ナンバリングはLAH. S～
- ・ 融合系…科学史や統計学など、文理融合的な科目。ナンバリングはLAH. T～

ひとつの学問領域について、「〇〇学A」（100番台）→「〇〇学B」（200番台）→「〇〇学C」（300番台）と連なっているものと、「教養特論〇〇」のように単発で開講されるものがあります。A→B→Cと開講される科目であっても、積み上げ式にすべて履修しなければならないわけではありません。Bだけ、あるいはCだけ履修しても問題ないように、内容が工夫されています。

100番台の文系選択科目の履修上の注意

100番台では、1Qで必修科目の「東工大立志プロジェクト」（2単位）を履修したあと、2～4Qでは文系選択科目（各1単位）を3科目履修します。この3科目は、上記「人文学系」「社会科学系」「融合系」の3つのカテゴリーからそれぞれ1科目ずつ履修しなければなりません。したがって、同一カテゴリーから複数の科目を履修することはできません。これは、早いうちに幅広い学問領域に触れ、学問どうしの関係や全体像を把握するためです。200番台、300番台の文系選択科目については、このような条件はありません。

ゼミについて

文系の各学問をより深く知りたい人のために、先生を囲んで少人数でじっくり学ぶことのできる科目を用意しています。それがゼミです。専門の論文を読んだり、とことん討論したり、ときには和気あいあいと語り合ったり。ゼミは、通常の授業と違って、1-2、3-4と2つのクォーターにまたがって開講されます。また、同じゼミを最大4年にわたって受講できるように、一つのゼミにつき8つの科目が開講されています。開講時限は先生により異なりますので、シラバスやガイダンスで確認してください。

例）100番台	1-2Q	…	「人文学系ゼミ（創造と思考のレッスン）導入1」
100番台	3-4Q	…	「人文学系ゼミ（創造と思考のレッスン）導入2」
200番台	1-2Q	…	「人文学系ゼミ（創造と思考のレッスン）1」
200番台	3-4Q	…	「人文学系ゼミ（創造と思考のレッスン）2」
300番台	1-2Q	…	「人文学系ゼミ（創造と思考のレッスン）3」
300番台	3-4Q	…	「人文学系ゼミ（創造と思考のレッスン）4」
300番台	1-2Q	…	「人文学系ゼミ（創造と思考のレッスン）5」
300番台	3-4Q	…	「人文学系ゼミ（創造と思考のレッスン）6」

卒業に必要な単位数

100番台	…	必修科目 2 単位	選択必修科目 3 単位（人文学系，社会科学系，融合系から各 1 単位）*
200番台	…		選択必修科目 4 単位
300番台	…	必修科目 2 単位	選択必修科目 2 単位

*100番台のゼミ科目は「100番台の卒業に必要な選択必修科目 3 単位」に含めることはできません。（200, 300番台のゼミ科目は、それぞれの番台の選択必修科目に含めることができます）

授業科目

★は英語開講科目

番台	Q	曜日	時限	人文学系	社会科学系	融合系
100	1Q	月木	3,4	立志プロジェクト		
			5,6	立志プロジェクト		
	2Q	月	5,6	コミュニケーション論A 外国語への招待1 教養特論:ライティングスキル 表象文化論A 文化人類学A	国際関係論A 社会学A 法学(民事法)A(★)	統計学A 科学技術社会論・科学技術政策A 意思決定論A 学びのデザイン 教養特論:ミュージアムから学ぶ科学・技術・文化コミュニケーション(★)
	3Q	月	5,6	芸術A 歴史学A 教養特論:多文化共生論 外国語への招待2 教養特論:言語と文化	法学(憲法)A 心理学A 教養特論:現代社会の課題とコミュニケーション 教養特論:東南アジア(★)	科学技術倫理A 社会モデリングA
	4Q	月	5,6	文学A 宗教学A 哲学A 人間文化論A	政治学A 経済学A(★) 教養特論:ファッション論 メディア論A	技術史A 科学哲学A 言語学A 教養特論:技術と美術の哲学(★) 科学史A
200	1Q	火金	5,6	哲学B 国際文化論:アジア・アフリカ 教養特論:オペラへの招待	教養特論:現代社会論 国際関係論B	科学技術社会論・科学技術政策B 意思決定論B 教養特論:大学史 教養特論:生物学史
	2Q	月木	1,2	芸術B 宗教学B 国際文化論:ヨーロッパ・ラテンアメリカ	政治学B 心理学B	統計学B 科学技術倫理B 言語学B 教養特論:身体教養科学 教養特論:科学とヒューマニズム(★)
	3Q	月木	1,2	文学B 歴史学B コミュニケーション論B 世界文学1 教養特論:日本文化入門(★) 表象文化論B 人間文化論B	経済学B 教養特論:国際社会とコミュニケーション メディア論B	科学史B 科学哲学B
	4Q	月木	1,2	世界文学2 文化人類学B	法学(民事法)B 法学(憲法)B 社会学B	技術史B 社会モデリングB
		木	1,2	アートとデザイン(★)		
300	1Q	火金	7,8	宗教学C 教養特論:日本思想史 教養特論:音楽	政治学C 社会学C 国際関係論C	科学技術倫理C 科学哲学C 社会モデリングC 言語学C 教養特論:スポーツ科学
		火	7,8	教養特論:オンライン学習コース概論(★)		
	2Q	月木	3,4	文化人類学C 芸術C 文学C 表象文化論C 人間文化論C	メディア論C	科学技術社会論・科学技術政策C 意思決定論C 科学史C 技術史C
		木	3,4	教養特論:オンライン学習コース制作実習(★)		
	3Q	月木	3,4	教養卒論		
				教養特論:ジェンダー	経済学C	
		月木	5,6	哲学C	教養特論:メディア心理学 法学(民事法・知財)C 法学(憲法)C	教養特論:人間関係論
		木	5,6	教養特論:都市の表象(★)		
	4Q	月木	3,4	教養卒論		
		月木	5,6	歴史学C	法学(民事法)C 心理学C	教養特論:環境 統計学C
		木	5,6	教養特論:都市(★)		

ゼミ

100	1Q～4Q	(自分発見、社会・文化・人間探求セッション)導入 1～2 (参加と協働と至福の場づくり)導入 1～2 (創造と思考のレッスン)導入 1～2 (現代宗教／スピリチュアリティ論)導入 1～2 (博物館と歴史学)導入 1～2 (哲学)導入 1～2	(法学ゼミ)導入 1～2 (政策とメディアの社会学)導入 1～2 (日米関係と沖縄)導入 1～2 (心理学)導入 1～2	(意思決定論)導入 1～2 (歴史における科学・技術と社会)導入 1～2 (「Well-being(よく生きること)」の科学と教育)導入 1～2 (社会科学への量的アプローチ入門)導入 1～2
200 300	1Q～4Q	(自分発見、社会・文化・人間探求セッション)1～6 (参加と協働と至福の場づくり)1～6 (創造と思考のレッスン)1～6 (現代宗教／スピリチュアリティ論)1～6 (博物館と歴史学)1～6 (哲学)1～6	(法学ゼミ)1～6 (政策とメディアの社会学)1～6 (日米関係と沖縄)1～6 (心理学)1～6	(意思決定論)1～6 (歴史における科学・技術と社会)1～6 (「Well-being(よく生きること)」の科学と教育)1～6 (社会科学への量的アプローチ入門)1～6